

事務局体制の確認

選択	事務局体制の確認
<input type="checkbox"/>	グループ内に専任の担当者はいない
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ内に専任の担当者を配置している

選択	事務局の業務委託の確認
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
<input type="checkbox"/>	外部の業者に部分的に業務委託をしている
<input type="checkbox"/>	外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

選択	グループのサポート体制
<input type="checkbox"/>	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
<input checked="" type="checkbox"/>	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
<input checked="" type="checkbox"/>	施工に関するサポートが出来る体制になっている
<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
<input type="checkbox"/>	その他、グループ特有のサポート体制がある

内容

選択	グループ内の情報共有の方法
<input type="checkbox"/>	グループ内で事業説明会を実施する
<input type="checkbox"/>	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
<input checked="" type="checkbox"/>	メール・メーリングリストを使った情報発信
<input type="checkbox"/>	ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
<input checked="" type="checkbox"/>	TEL・FAXを使った情報共有・発信
<input type="checkbox"/>	その他

内容

選択	所属工務店の廃業等があった際の対応
<input type="checkbox"/>	指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
<input type="checkbox"/>	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
<input type="checkbox"/>	グループ事務局にて維持管理を代行
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
<input type="checkbox"/>	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
<input type="checkbox"/>	グループ事務局として対応しない
<input type="checkbox"/>	その他

内容

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択	主要構造部における地域材の推奨割合
<input type="checkbox"/>	50%未満
<input type="checkbox"/>	50%以上
<input checked="" type="checkbox"/>	80%以上

選択	グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組
<input type="checkbox"/>	設計性能評価書を取得している
<input type="checkbox"/>	建設性能評価書を取得している
<input checked="" type="checkbox"/>	耐震等級3を取得している
<input checked="" type="checkbox"/>	ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
<input type="checkbox"/>	ZEHに取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	BELSに取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	低炭素住宅の認定を取得している
<input type="checkbox"/>	その他

内容

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
<input type="checkbox"/>	使用する地域材の在庫把握の仕組み
<input type="checkbox"/>	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
<input type="checkbox"/>	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
<input type="checkbox"/>	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が施工業者に連絡して維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない
内容	

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
<input type="checkbox"/>	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
<input type="checkbox"/>	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
<input checked="" type="checkbox"/>	改正省エネルギーに関連した研修会
<input type="checkbox"/>	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
<input type="checkbox"/>	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
<input type="checkbox"/>	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	事業者向け現場見学会
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合
<input type="checkbox"/>	未経験工務店は所属していない
<input type="checkbox"/>	未経験工務店の所属が1/3未満
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店が1/3以上
<input type="checkbox"/>	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない
内容	

受付番号

168

グループ名称

京・杉の家・座

様式3

選択	グループの未経験工務店に対するサポート体制
<input type="checkbox"/>	未経験工務店への優先サポートの実施
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
<input checked="" type="checkbox"/>	各種認定取得サービスの活用提案
<input type="checkbox"/>	施工管理・施工検査のサポート
<input checked="" type="checkbox"/>	営業支援（提案書作成・営業同行）
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による交付申請書類作成支援
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による実績報告書類作成支援
<input type="checkbox"/>	特にサポートは行っていない
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択	地域型住宅として地域社会との連携・継承等について
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の伝統的なデザインの継承を意識している
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の街並みの継承を意識して対応する
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の住まい方の継承を意識して対応する
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択	災害発生時・発生後の対応について
<input checked="" type="checkbox"/>	特に取り決めしていることは無い
<input type="checkbox"/>	取組みを行っている

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受る

受付番号

168

グループ名称

京・杉の家・座

グループの取組み等PRポイントについて

近年集成材が一般化し、無垢材を加工・組み立てする技術が低下している。そうした技術を持った職人が減少している中で、木材の変形を接合の強化に結びつけるなど、木の性質を生かした技術を継承・発展させていく仕組みを作っていく必要があると考えています。また、森林を健全に育成するために国産材を使うことはもとより、無垢材を表し、意匠としてももちいるように心がけている。

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

耐震等級3を取得し、必ず許容応力度計算による安全性の確認を行っています。省エネ等級4を取得はもとより、Ua値0.5を確保するように心がけています。

地域型住宅における地域材の活用について

構造材は梁・柱共に京都府内産の杉・ヒノキを90%以上使用し、仕上げの床板は国内産の無垢材のフローリングをできるだけ利用しています。また、内装建具は国産材の枠を用いて、框戸にも利用しています。

引き渡し後の維持管理について

竣工後、1年点検を行い、その後3年5年10年30年と定期点検を計画・推奨しています。点検後は点検項目・チェック内容を報告書にまとめ、維持管理記録として保管していただくように管理しています。

消費者相談窓口の有・無と消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

維持保全に関する住まいの健康診断の実施、住まい方自分のできるメンテナンスの情報提供等

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン	グループ名称	京・杉の家・座			
	R3採択グループ番号	10	-	0501	- 0423

F: 交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施	<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他				

(1)-6 : モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目		
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input type="checkbox"/> 外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他	

(1)-7: モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)	
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3)でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)	
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1: 導入する省エネ手法をお答えください

選択項目		
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/> 地熱利用
<input type="checkbox"/>	その他	

(2)-2: 現在の運用をお答えください

選択項目		
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している	<input type="checkbox"/> 実際の物件に導入していない